Panasonic®

施工説明書

住宅用照明器具（ひとセンサ付ポーチライト）

施工説明付き

品番 HWC6851KEL（シルバーグレーメタリック 飾り：なし） HWC6856KEL（プラチナメタリック 飾り：なし） HWC6861KEL（プラチナメタリック 飾り：ブラウン） HWC6866KEL（プラチナメタリック 飾り：ダークブラウン）

お客様へ 器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

工事店様へ 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様へお渡しください。

上手に使って上手に節電

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

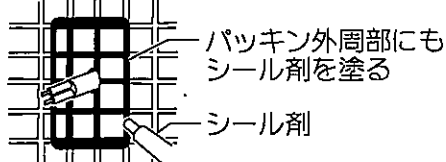
■お守りいただく内容を、次の図表示で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

必ず守る

■**器具の取り付けは、施工説明書に従い確実に行う**
取り付けに不備があると火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

■**取付面と本体パッキンのスキマおよびパッキン外周部にシール剤を塗る**
本体パッキンと取付面とのすき間を防水シール剤などで埋めてください。

●**防水が不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。**

■**検知部が下になるように取り付ける**
浸水による感電のおそれがあります。

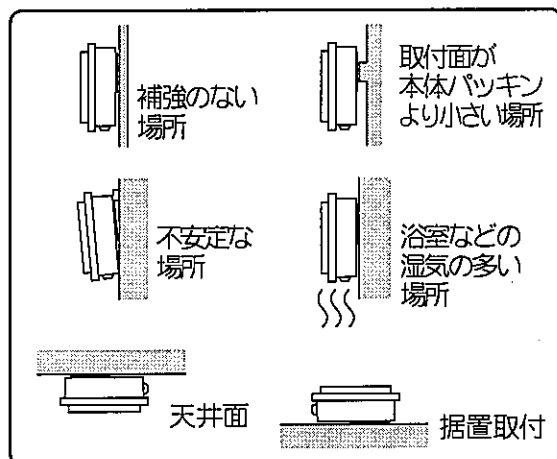
■**交流100ボルトで使用する**
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

■**電源線は端子台の差込み穴の奥まで確実に差し込む**
差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

必ず守る

■**メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの木造の造営材に器具を取り付ける場合は、器具の金属部と絶縁を取る**
木ネジ、器具の取付板等とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付けてください。漏電した場合、火災のおそれがあります。

禁止

■**次のような場所には取り付けない**
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●**この器具は壁面取付専用防雨型です。（防湿型ではありません。）**

アース線接続

■**接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって確実に行う**
接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。

⚠注意

必ず守る

■器具に表示された周波数で使用する
火災の原因となることがあります。

■付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

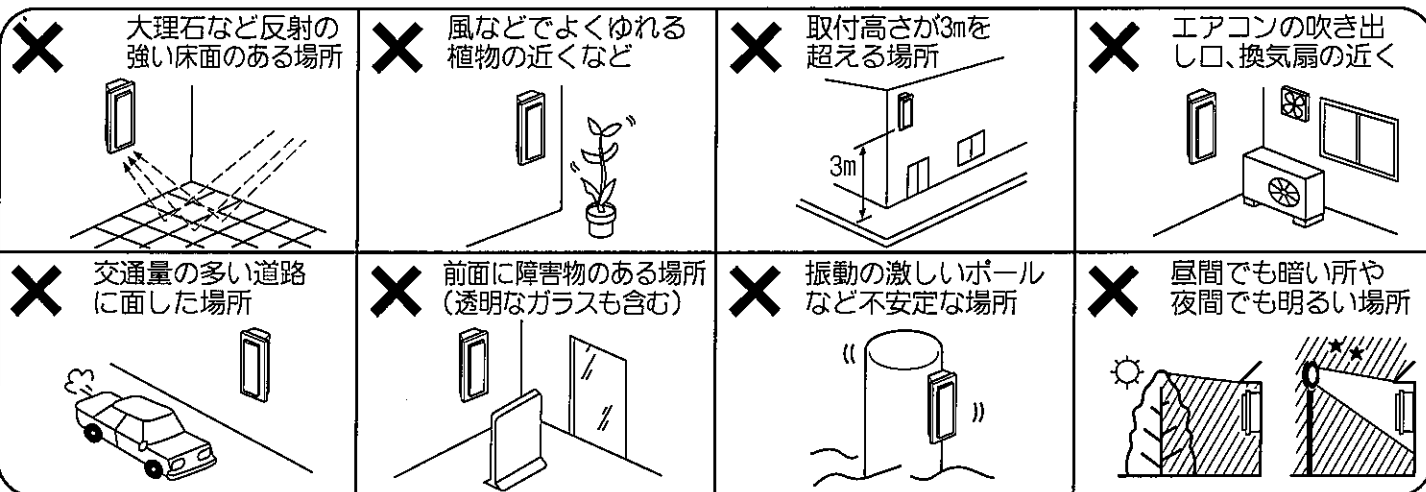
禁止

■調光器と組み合わせて使用しない
調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となることがあります。
●調光器の取り外しが必要です。

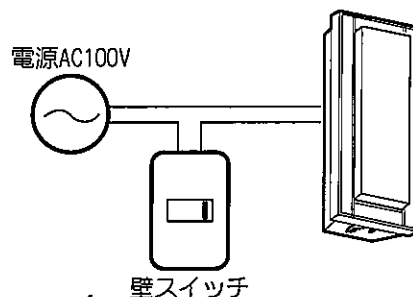
■温度の高くなるものの上に取り付けない
火災の原因となることがあります。
●ガス機器や排気筒の上に取り付けないでください。

施工前にお読みください

設置場所についてのご注意

●次のような場所には取り付けないでください。
この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。

●一般屋外仕様ですので、海岸隣接地帯では、塩害により短期間で錆が発生するおそれがあります。

配線についてのご注意

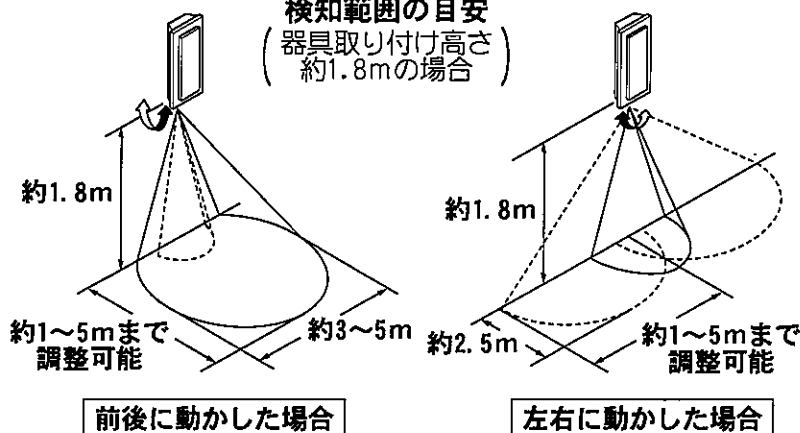
●必ず壁スイッチを設けてご使用ください。（スイッチは別途ご用意ください）
・点灯に異常が発生したとき、リセットできません。
●壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも照明器具が消灯状態（センサ待機状態）のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。（故障ではありません）
●通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。

センサの検知範囲

●センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。（センサの検知部は全方向に約20度動きます。）
●器具の取り付け高さ1.8m（標準）～3mの間では、検知範囲は変わりません。

ご注意
・この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物・自動車など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。
また、静止状態の人などは検知しない場合があります。
・検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。
・夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化が小さいため検知しない場合があります。
・センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがありますが、器具の故障ではありません。

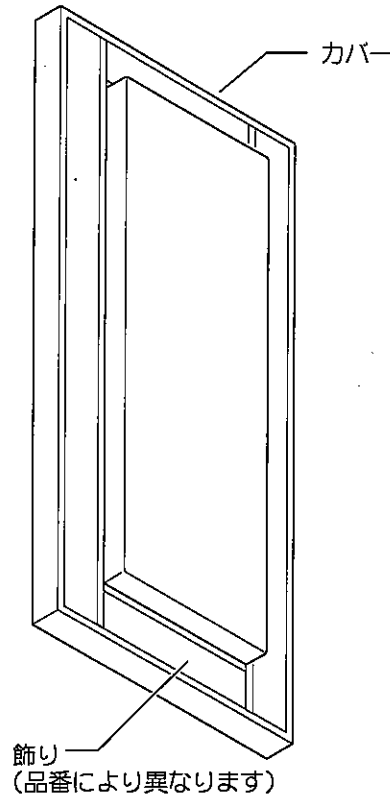
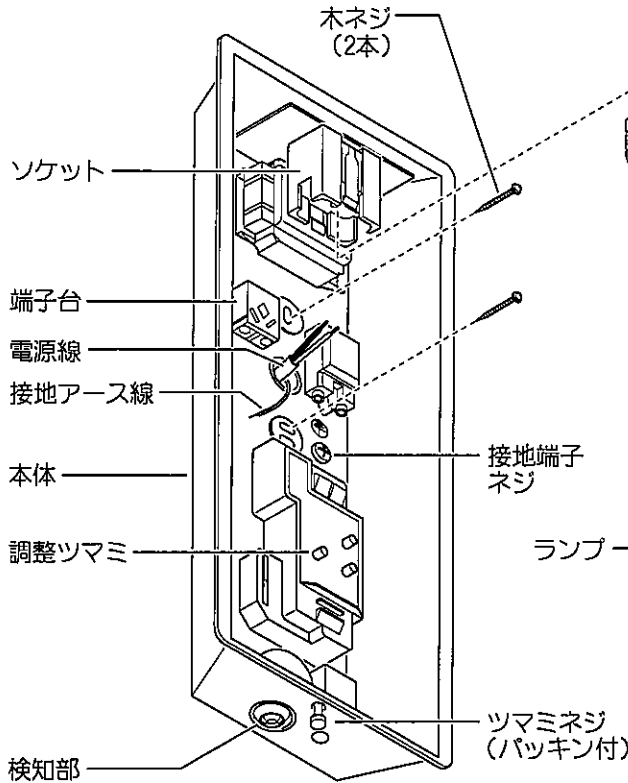
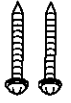
検知範囲の目安
（器具取り付け高さ約1.8mの場合）

約1.8m
約1～5mまで調整可能
約3～5m
前後に動かした場合

約1.8m
約2.5m
約1～5mまで調整可能
左右に動かした場合

調整ツマミの設定について

この器具は取り付け後、ご使用の環境に合わせてセンサの検知範囲、調整ツマミの設定が必要です。
必ず、4ページ「検知範囲と調整ツマミを設定する」をお読みのうえ、設定してください。

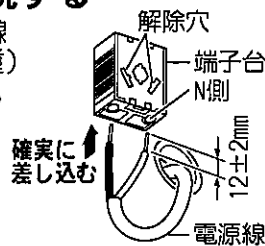
各部のなまえと取り付けかた

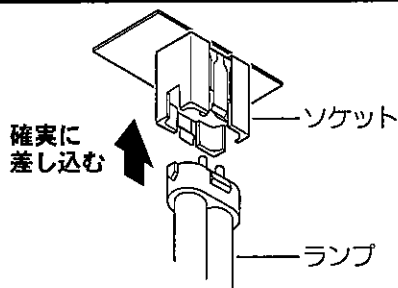
安全のため、電源を切ってから行ってください

1 付属の木ネジ(2本)で本体を取り付ける

・取付ピッチ：66.7mm, 83.5mm

2 端子台に電源線を接続する

・適合電線 VVF φ1.6、φ2.0単線
・接地端子ネジからD種(第3種)接地工事を行ってください。

器具の取り替え等で電源線を外す場合は、マイナスドライバー等を解除穴に差し込みながら電源線を引き抜く。

電源線にポリエチレン系絶縁体を使用したEM(エコマテリアル)ケーブルをご使用の場合、表面の劣化を考慮し、端末部付近の絶縁体露出部を黒テープなどで保護してください。

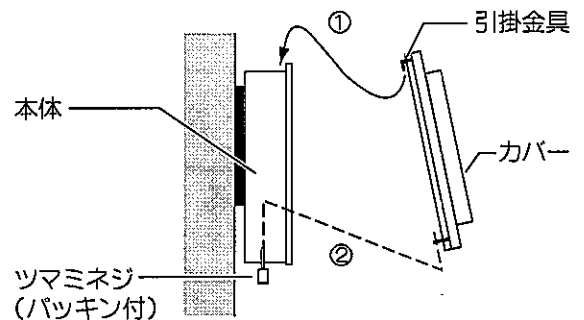
3 ランプを取り付ける

4 検知範囲と調整ツマミを設定する

(次ページ参照)

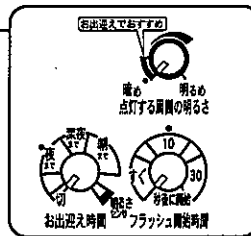
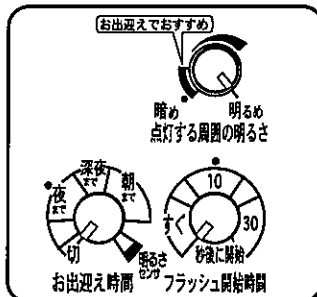
・カバーを取り付ける前に必ず行ってください。

5 カバーを取り付ける

①本体上部にカバーの引掛金具を引掛ける
②ツマミネジ(パッキン付)を締め付ける

検知範囲と調整ツマミを設定する　昼間でも設定できます

設定の前に
①壁スイッチをOFFにする
②カバーを取り外す

1 センサの検知範囲を調整し、点灯確認をする

出荷時の設定

［手順］
①あらかじめ、調整ツマミを以下の設定にする

点灯する周囲の明るさ――「明るめ」（右いっぱいに回す）
お出迎え時間　――「切」（左いっぱいに回す）
フラッシュ開始時間　――「すぐ」（左いっぱいに回す）

②検知部を動かし、設置場所に合わせて検知範囲を調整する
●検知部は、全方向に約20度動きます。
●センサの検知範囲は、☞2ページ「センサの検知範囲」をご参照ください。

③壁スイッチをONにし、センサの検知範囲の外に出る
➡ 約40秒間点灯してから消灯します。

消灯しない場合は以下の原因が考えられます。
●お出迎え時間が「切」になっていない ⇒ お出迎え時間を「切」にする
●センサの検知範囲に入っている ⇒ センサの検知範囲から外に出る
●連続点灯になっている ⇒ 付属のリモコンの通常モードのボタンを押す

④消灯したら器具に近づいて、フラッシュ光とアラーム音が動作することを確認する
●センサの検知範囲の外に出てから約5秒後に消灯します。

2 いったん壁スイッチをOFFにして 使いかたに合わせて調整ツマミを設定する

●点灯する周囲の明るさ ―― 「暗め」がおすすめです。
●お出迎え時間 ―― 「夜まで」（約22：00）がおすすめです。
●フラッシュ開始時間 ―― 「10秒後」あるいは「30秒後」がおすすめです。

（注）動作の詳しい説明は、取扱説明書 ☞ 4ページ「使いかた」をご参照ください。

3 カバーを取り付ける

☞ 3ページ「各部のなまえと取り付けかた」参照

4 壁スイッチをONにする

➡ 壁スイッチをONにした直後は、周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

ご注意 ●お出迎え点灯を設定した場合（お出迎え時間調整ツマミを「切」以外に設定した場合）
壁スイッチをONにした初日は、手順2で設定した「お出迎え時間」ツマミの位置に関係なく
お出迎え点灯は約4時間で終了します。翌日より設定した時刻通り終了します。

パナソニック電工株式会社　インテリア照明事業部
〒571-8686 大阪府門真市門真1048

HWC6851KEL-S3A2　N0608-020909